

活動報告

活動日	内容	依頼主	対象	講演内容
2006年度				
9月 7・14・21・ 28	講演		神田女学園	総合学習 ・1回目 種村エイ子先生・2回目 鈴木 ・3回目 薬師寺 ・4回目 長谷川
11月	講演		愛知県みずほ大学	公開講座(第8回)
	講演			愛知県小中学校 福岡県小学校 福島県市民講座 新潟県校長会 職員 研修会 養護教諭研修会 保健主事研修会 母親勉強会
12月12日	講演	千葉県市立四 街道中学校	各学年200名	「いのちを大切にする」
12月14日	講演	千葉県 東葉高 等学校	全生徒400名	  「いのち・いきる」講演
2007年度				
1月22日	講演	長野県市立東 部中学校	1年生280名 総合学習として	・事前に本を読み感想文提出 ・「いのちの大切さ・ただ一度の人生をどう生きるか」講演 ・生徒＋先生＋講師でパネルディスカッション ・感想文提出
1月30日	講演	茨城県潮来市 立日の出中学校	全校生徒＋保護者 保健学習の一環でPTA 主催	  ・堀見-長谷川-鈴木 講演 ・PTA会長・役員＋講師でパネルディスカッション ・PTA懇談会
2月2日	講演	江戸川教育委 員会	初年度と10年目の先 生と希望者による研修 約18名	  心の教育研修 長谷川-石井-鈴木 講演
2月14日	講演	千葉県校長会	千葉県高等学校長協 会生徒指導委員会に 参加される校長先生 35-45名	堀見「医療現場から教育現場に望むこと」 長谷川「学校及び家庭教育現場の問題点」 石井「からだといのちの図書コーナー設置の提案」 柳堀「性教育の取り組みについて」 薬師寺「いのちの授業の取り組みについて」 高柳「患者の立場からの声」といったテーマで、患者サロンでの活動状況 と実体験

活動日	内容	依頼主	対象	講演内容
5月27日	講演	調布市立第五中学校	1年生5クラス生徒+保護者30名ほど	 <p>目的: 人生の困難に立ち向かう心と体をどのようにして育てていけばよいのかを生徒・保護者・教員が学びあう機会とする。</p>
6月10日	講演	実地医家のための会	約30名の医師	 <p>第484回 実地医家のための会 「子ども達にどう語りかけるか」 「中学校、高校でのいのちの教育の試み」</p>
6月12日	講演	佐倉市井野中学校	全校生徒312名+教師、PTA数名	 <p>佐倉市の「命を大切にするキャンペーン」の中での井野中学校の取り組みとして「いのちを大切にする。～心臓外科医の視点から～」</p>
7月21日	総会&講演会	総会&講演会	発見塾会員や応援してくれる方々	 <p>中村和彦・山梨大学准教授による記念講演 「子どもの心と体の危機」</p>
8月1日	講演	柏市立教育研究所	柏市内幼稚園、小・中学校教職員365人	 <p>平成19年度 柏市教職員夏季研修講座として いのちを大切にする教育の重要性とその方法」 ～ こどもたちと考える生命倫理 ～ 子供達への伝え方や講師の貴重な医者としての看取りの体験談など</p>
8月25日	講演	ぬいぐるみ病院	「ぬいぐるみ病院」の活動をしている医学生や看護学生約50人	 <p>・「入院してみて感じたこと」 （『たまひよボックス』編集長の伊藤直美さん、小島） ・テーマ「こころと技術」堀見さん （医師、東京大学医療政策人材養成講座の隈丸さんと堀見さん、学生2名によるパネルディスカッション</p>

活動日	内容	依頼主	対象	講演内容
9月13日、 20日、 27日	講演	神田女学園	1年生(85名) 3年生(120名)	13日・「生と死を考える」 20日・「生と性を考える」 1年生にはジェンダーや性的志向、 3年生にはリプロダクティブ・ヘルス/ライツ 27日・「女性としての生きがいを考える」 
9月20日	講演	文京区立第六 中学校	中学2年(120名)	   テーマ・「人との関わりの中で生きるとは」を考える 方法・・・各クラスごとのグループディスカッション ・クラス代表者3名が22日の公開講座パネルディスカッションで 討議した内容を発表する。
9月22日	講演	文京区立第六 中学校	中学2年+保護者や地 域の方々(160名)	クラス代表者3名+教員+保護者で 公開講座パネルディスカッション、 その後、医者・記者それぞれの立場、 経験から講演する。 ・言葉の持つ威力 ・自分の存在価値とは何か 
10月18日	講演	岐阜県立八百 津高等学校	県立八百津高校の1～ 3年生310人、町立八百 津中学校3年生112人、 八百津東部中学校3 年生23人、教員、 PTA、教育委員会、約 500人	  八百津中学、八百津東部中学、八百津高校の3校で「人間としての在り 方・生き方を考える教育」研究の一環として 「世界から見た日本の中学生・高校生」をテーマに ・生きることは学ぶこと ・言葉の大切さ
11月14日	講演	江南市西部中 学	中学1～3年生 402名	「生きるを考える～自分からはじまる人との関係～ 歌手の新垣勉さんの音楽を聴きながら、彼の生い立ち生き方についての 事前学習が1時間行われ、その後の講演であった。 キーワードは言葉のキャッチボール。自らの脳挫傷の患者さん・末期の肺 がんの患者さんの看護体験の中から言葉の重要性とそれを発信する責 任の重さを伝えた。 自らも看護の世界で、20年間の様々な悩みの解決を求め、大学院で学び 続けていることの語りや実際にキャッチボールを行ったことが子どもたち の心を動かした講演であった。

活動日	内容	依頼主	対象	講演内容
11月21日	講演	東京成徳大学 中学校	中学2、3年 300名	総合学習の授業の一環として「命のつながり」について考える
11月23日	第1回プレゼン大会	NPOサロン	会員の有志+理事	  <p>会員プレゼン(自ら発信したい内容を20分間程度で発表)理事の発表+消費生活センター坂本憲枝さん、朗読ユニットK&Yクルーズ堀内由香さん、日本二分脊椎症協会鈴木信行さん</p>
11月25日	出展	東京国際フォーラム	医療の質・安全学会第2回学術集会・国際シンポジウム 医療安全推進週間公開フォーラム「みんなで創ろう、私たちの医療—患者・医療者・地域社会の取組み」展示	  <p>医療安全推進週間公開フォーラム併設展示「私たちの活動」展へ出展</p>
12月4日	講演	広島県福祉保健部福山地域保健所 府中市立上下中学校	全校生徒140名及び保護者、教育関係者	生きる力について考える ～日々の取材をとおして～
12月6日	第1回からだところのサイエンスカフェ		「炭火焙煎珈琲 凜」(東京・銀座四丁目)18名(含むスタッフ5名)	  <p>カフェでコーヒーを楽しみながら、第一線で活躍している科学者の話を聞き、気軽に語り合う、新しいコミュニケーションの場 話題:「心臓外科医と心臓を語ろう」スピーカー:堀見洋継</p>
12月11日	講演	四街道中学(1回目)	3学年合同 全校652名+教職員+PTA	  <p>「いのちの授業:みんな違ってみんな良い」 ～学校が、よりいっそう楽しくなるようなコミュニケーションとは? ／誰もが居心地のよい学校にするためのコミュニケーションづくりとは? ～を全体テーマとして</p>   <p>図書室に設置された図書コーナー</p>